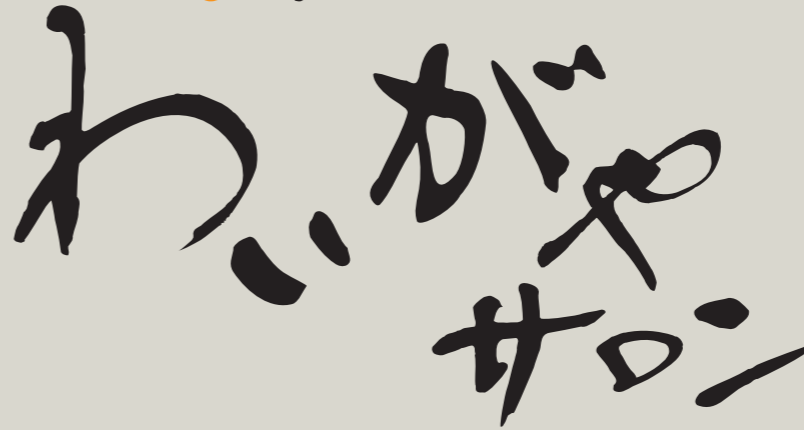




- 第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐる 平成18年9月19日
講師/佐倉 一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長
樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日
講師/久米 えみさん ながのクラッセ会長
樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日
講師/鷺沢 幸一さん アスレながの事務局長
室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事

- 第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日
講師/清水 隆史さん フォトグラファーほか 常盤 昭二さん CMディレクター
- 第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日
講師/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェーダ・健康セラピスト
- 第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOIGOの設計に参画して 平成19年4月23日
講師/竜野 泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長 [一級建築士]
- 第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日
講師/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日
講師/荻原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回 トウガランの尽きせぬ魅力/「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日
講師/松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授
- 第10回 命のバトンを渡す「ピオトープ」/長野市をピオトープネットワークシティに 平成19年11月14日
講師/松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回 簡単・おいしい・オシャレ/わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日
講師/浜 このみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回 あなたのからだは「薬何年」ですか? 平成20年7月14日
講師/角本 浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長
- 第13回 アメリカ生活で感じたあれこれー変化に対して前向きになることの大切さー 平成20年8月19日
講師/針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日
講師/水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回 長野/バルセイロー 優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日
講師/バドゥ・ビエイラ監督、薩川了洋コーチ、真富信宏キャプテン
- 第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日
講師/町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日
講師/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回 循環備蓄型の農業の実践ー宇宙のリズムにあった農業で一次産業の再生を試みるー 平成21年6月3日
講師/塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回 郷土を包む「おやき」 平成21年7月14日
講師/小出 陽子さん (同)ふきっ子のお八起 代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回 信州の伝統から生まれる食文化ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日
講師/宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日
講師/志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よこらしよ 代表理事
- 第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日
講師/薩川了洋さん AC長野バルセイロ新監督
- 第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぼ〜 平成22年5月25日
講師/石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回 3度目でつかんだオリンピック出場 平成22年7月28日
講師/新谷 志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務
- 第25回 逃げないスケルトン ～夢と感動と勇気を～ 平成22年9月15日
講師/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属
- 第26回 Go to J ～J～を長野にーいよいよ地域決勝大会!～ 平成22年10月25日
講師/鈴木 政一さん 長野バルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日
講師/千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ
- 第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日
講師/川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表
- 第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日
講師/安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回 江戸のエコロジストー茶ー 平成23年8月30日
講師/マブソン 青眼さん 俳人・比較文学者
- 第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日
講師/井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員
- 第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日
講師/田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役
- 第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ 平成24年1月31日
講師/飯室 織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」運営
- 第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ 平成24年2月28日
講師/相原 哲さん ながの町神輿連合会武睦会 会頭
- 第35回 長野とオリンピックレガシー 平成24年3月26日
講師/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務
- 第36回 すべてが一丸となって ながのの宝もの。をJへ 平成24年4月24日
講師/薩川了洋さん AC長野バルセイロ監督
- 第37回 信州の野鳥たち 平成24年8月31日
講師/小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会員
- 第38回 見る 学ぶ 体験する 自然農法 平成24年9月27日
講師/塩澤 研一さん 農業生産法人水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事

- 第39回 善光寺表参道と中心市街地のWi-Fi計画 平成24年10月25日
講師/俣田 達男さん NTT東日本 長野支店長
- 第40回 しなの鉄道長野以北延伸と営業戦略 平成24年12月6日
講師/山田 隆さん しなの鉄道(株) 専務取締役
- 第41回 自然との共生 平成25年2月28日
講師/藤岡 牧夫さん イラストレーター・絵本作家
- 第42回 花は人を育てる 平成25年4月9日
講師/矢澤 秀成さん 園芸研究者/ながの花と緑そして人を育てる学校校長
- 第43回 人と組織の笑顔の創造 平成25年5月31日
講師/近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長
- 第44回 信州の分水嶺 ～山と川と里～ 平成25年8月22日
講師/栗田 貞多男さん 写真家
- 第45回 長野市の魅力と不動産取引の発展性 平成25年11月20日
講師/鶴志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長
- 第46回 地域におけるバイオマス利活用について 平成26年1月29日
講師/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授
- 第47回 AC長野バルセイロー ー私のチームマネジメントについてー 平成26年3月3日
講師/美濃部 直彦さん AC長野バルセイロ監督
- 第48回 わたしにとつてのボランティア 平成26年4月16日
講師/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長
- 第49回 金沢の未来と長野へのエール 新幹線で結ぶ金沢と長野の絆 平成26年5月26日
講師/浅野 邦子さん 株式会社 筈一 代表取締役会長
- 第50回 取材を通してみた長野の魅力 ～長野をもっと元気に!～ 平成26年10月8日
講師/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー
- 第51回 チームマネジメント 平成27年1月19日
講師/本田 美登里さん AC長野バルセイロ・レディース監督
- 第52回 本物のおもてなし ～加賀屋の経営理念とビジョン～ 平成27年3月17日
講師/小田 興之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長
- 第53回 地域の元気をつくる「成長企業」は、ここが違う!～地方の中規模企業が成功するための法則とは?～ 平成27年7月1日
講師/廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長
- 第54回 長野から宇宙へ! ～ローカル企業のチャレンジ～ 平成27年8月25日
講師/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役
- 第55回 食を通じて発見 知られざる長野の魅力! 平成27年10月8日
講師/中島 麻希さん 1級フードアナリスト
- 第56回 摩訶不思議! 長野の神社の靈感の世界 平成27年11月17日
講師/齋藤 安彦さん 宮司
- 第57回 大河ドラマ「真田丸」の舞台裏 ～撮影を通して見た信州の魅力～ 平成28年4月2日
講師/屋敷 陽太郎さん NHKチーフプロデューサー
- 第58回 真田丸の時代を語る ～時代考証の舞台裏 平成28年7月2日
講師/平山 優さん 歴史研究者
- 第59回 寺町商家の運営で気づいた*食。の力 平成28年8月30日
講師/西村 知子さん 寺町商家運営アドバイザー
- 第60回 地域から社会を変えよう! 行動する人の集まる港CREEKS 平成28年11月11日
講師/広瀬 毅さん 株式会社CREEKS 広瀬毅建築設計室代表
- 第61回 長野バルセイロー ー今シーズンの目指すチームづくりー 平成29年3月13日
講師/浅野 哲也さん AC長野バルセイロ監督
- 第62回 輝く女性の活躍で長野県の企業を更に魅力的に! 平成29年5月30日
講師/中島 恵理さん 長野県副知事
- 第63回 信州は橋の都 千曲川と犀川に架かる名橋/日本一美味しい飯山のお米 平成29年7月19日
講師/服部 秀人さん 信州・橋の日推進協議会専務理事/エコファーマー
- 第64回 少子高齢化時代の長野市を考える ～行政の政策現場から見えるもの～ 平成29年8月23日
講師/平尾 勇さん 長野県観光機構エグゼクティブ・プロデューサー (前松本市商工観光部長)
- 第65回 長野県を元気に! メンタルヘルス(心の健康)からの大きなヒント! 平成29年9月21日
講師/野池 裕子さん ダイヤモンド・セルブ長野ファースト 代表・講師
- 第66回 陶芸の楽しみ 平成30年3月23日
講師/愛甲 宏明さん 炭平コンピューターシステム株式会社 代表取締役社長
- 第67回 話すって難しい? 平成30年4月23日
講師/坂橋 克明さん フリーパーソナリティ



通信

Vol. 68
2018.7



お日様が旭山と郷路山の谷間に沈む



NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute
NPO法人
長野都市経営研究所
〒380-0834
長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
www.nupri.or.jp
e-mail:nupri@nupri.or.jp



NPO法人 長野都市経営研究所

第68回

中世善光寺如来堂東向き

平成30年7月5日(木) 18:00~20:00

講師／宮下 秀樹さん 株式会社守谷商会 執行役員、国立長野高専客員教授

■座長：岩野 彰 場所／NUPRI事務所

当夜、講演が始まるや、各人の携帯機器から土砂災害警報が鳴り響きました。大事に至らぬことを祈りつつ聞くお話は奇しくも古く人々が現世厄災不安からの救済を祈願する場として建立された善光寺、に寄せる建築・河川技術専門家ならではのエピソード。

アンタッチャブル!?

私たちがお参りする善光寺は、中央通りを表参道とする南北軸の北端に南向きの本堂(如来堂)を構えています。中世以前の善光寺は東を向いていたという言い伝えが幾つか地元に残っています。当然『長野県史』や『長野市誌』に載っていると思いきや、不思議とその点に触れられていません。私は生来のへそ曲がり。この矛盾を捨て置くことができません。余暇に調査研究を重ね、「市誌研究ながの」にて発表したことをお話します。

きっかけは本業

仕事で裾花川災害(私の専門分野)を記した古文書をあたっている時でした。「朝陽館漫筆」(松代藩家老鎌原桐山著/1810年頃)内に「すゝ鼻(裾花)川は八、九十年以前は妻科村の南の方より……七瀬村の裏の方」を流れていたという文言とともに「善光寺如来堂古来は東向きにて有……焼失後今の所へ引き、南向きに……仁王門は三輪村……」等文言を見つけました。この瞬間が善光寺東面説との付き合いの始まりでした。調べるほどに同文書以外にも東面の口碑伝承が多々あり、しかし或る時を境に否定され今に至っているようなのでした。

西方浄土/浄土思想

中世善光寺の位置関係をシミュレーションしてみましょう。中世には、布野の渡し(現屋島橋下流)で千曲川を渡り、三輪田圃を通り善光寺に向かう古道が有りました。当時は中道と言われていました。仁王門があったのは三輪四ツ石の少年鑑別所付近、如来堂は仲見世通り位置。その中間には湯福川が暗渠になったことで姿を消した淀ヶ橋があります。一遍上人は全国を遊行途中、善光寺に立ち寄っています。「一遍聖絵」等を見ると、右から条里制(三輪田圃)～堰(鐘鑄堰)～穢土橋(淀ヶ橋/湯福川)～仁王門～如来堂の順で描かれています(絵巻では東西軸を水平にとり、東向きの如来堂を描いたとみるのが合理的で自然)。穢土は仏教語で浄土の対語、この橋が浄土(善光寺境内)とこの世・娑婆をくっきり区分ける役目を果たしていました。

時代をもっと遡って、善光寺如来を安置した草堂がなぜこの地に建てられたのでしょうか。東山道枝道と中道が交差するあたり(現三輪1丁目)から西方を望むと、裾花川を挟んで朝日(旭)山と郷路山が向かい合いその奥に深い渓谷があります。そこに夕日が坐するときが年2回あります。その光景はまさに「山越の阿弥陀・二河白道」の世界(旭山を火の河、郷路山を水の河、谷間・裾花渓谷を白道に見立てる)。西方浄土の存在を実感出来るこの地こそ善光寺如来を安置するのに最高の地、と確信して、本田善光が質素な私邸を中道沿いの芋井に構えたに違いありません(芋井草堂と呼ばれる)。

撞木造り

現在、善光寺を紹介する際、本堂の建築様式は南北に長い撞木造り、と説明されます。でも、はじめから撞木造りだったわけではないようです。



みやした ひでき 1955年、6月生まれ。1976年、(株)守谷商会入社。同社技術研究所、品質技術本部長、名古屋支店長を経て現職(地中熱事業担当)。1999年より母校の長野高専にて土木施工学を教える。工学博士。趣味は郷土史研究

善光寺信仰は平安末期には全国的に広まっていた。布教した善光寺聖と呼ばれる人たちは字を読めない民のために善光寺如来の故事来歴・靈験譚を絵にした「善光寺縁起」を用いました(60点ほど存在する縁起絵の如来堂の造りは一様でない)。

浄土真宗の開祖・親鸞も善光寺聖として活動した時期があります。彼が善光寺如来の夢告を授かり、下野の高田に建てた専修寺如来堂は東向きで、対面に西向きの涅槃堂を有しています。

天保年間、東町の豪商の出で大勧進に仕えた岩下桜園が『芋井三宝記』を編纂、善光寺は頼朝再建以降より南北に長い金堂と礼堂が直列に並ぶ南向きの妻入りの堂、と記します。昭和期における善光寺研究の第一人者・坂井衡平は『善光寺史』にて追認する形をとり、善光寺について多く著作した歴史学者・小林計一郎氏はこれらを支持し、本式御堂が造営されるまでの仮堂が東向きだった、としたのです。

しかし、これは南北に細長い東向き平入りの堂舎が平行に並ぶ双堂と見るのが正しく、この場合中世善光寺は東を向いていたということになります。双堂はやがて三棟造りへと進化していくのです。

善光寺信仰の隆盛により津々浦々からやって来る善男善女たちは本堂にてお籠り、する倅いから礼堂空間を拡張する必要性が生まれました。三棟造りにおいて奥行きのある縦長、の本堂が望まれて正堂と礼堂の間に屋根を掛けて広い礼堂空間を実現したのが東大寺法華堂。その延長上にあるのが撞木造り、の善光寺如来堂と言っていいでしょう。

誰が、いつ南向きに?

善光寺信仰は武士にも浸透していました。戦乱の時代、善光寺が荒廃するなか、やがて善光寺佛は織田信長、徳川家康を経て豊臣秀吉の手に渡ります。秀吉が死の直前に佛奉還を決めたことから、徳川家康の家臣団によって信濃の地に善光寺再建(慶長8年頃)。この時が南向き、にされた瞬間と考えられます。

詳しく言いますと、当時、川中島4郡は家康6男忠輝に与えられ、付家老・大久保長安が裾花川の大改修を実施します。裾花川が毎年のように乱流するゆえの瀬替えでした。同時に北国街道を丹波島～近世善光寺～徳間ルートにして開設。結果的に中道は街道から外され、中道の善光寺領・四ツ石(冒頭に出た地/水田が整備された一等地)が平柴と換地されたのでした。

本題は堂の向きです。大久保は武田家滅亡後、徳川によって雇用された甲州系の人。善光寺が兵火で焼失後に武田信玄が移し建てた甲斐善光寺は南向き、でしたから、それを見て育った世代が見ず知らずの元の向きなど思料しない、でしょうね。

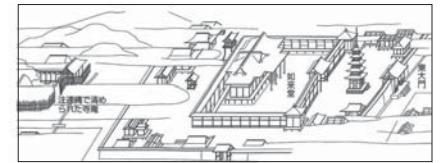
拝む方向は西

善光寺縁起は月蓋長者が如是姫の病氣回復を願い、阿弥陀如来の力によって快復することから始まることは皆さんご存知の通り。縁起では両場面含む計5場面で西の廂の間が登場します。とにかく阿弥陀如来(善光寺佛)は西の廂の間が大好き。芋井草堂で真ん中の部屋に置いても、すぐ西の廂の間に戻ってしまう(笑)のは、中の間が礼堂、西の間が金堂にあたるからで、西に向かって拝むのは浄土信仰に合致するのですから結果オーライです。

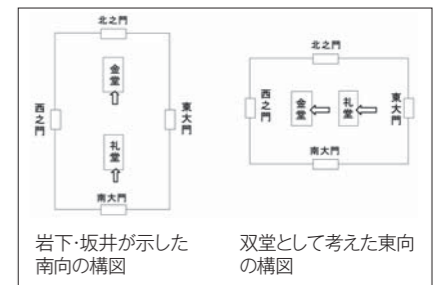
現在の善光寺は仁王門・三門・本堂(如来堂)が南北に並列し、一般参詣者は本堂へは南から入り、外陣から内陣(北面)に拝観する構図。その一連から現在の善光寺全体構造は南面とみるのに異議はありません。しかし、へそ曲がり(私)としてはもう一声上げさせてほしい。今から皆さんにお見せするのは大正3年の善光寺参拝奉納絵馬。然して内陣に籠って一晩中参拝者が祈り続ける、その方向は西。縁起の「汝は東にありて我を憑む 我は西にありて汝を護らん」の教えのままで、かつ現在の本堂の内々陣で本田御三卿もまた連子窓を介して西の廂の間に座す善光寺如来に祈りをささげているのです。宝永4年(1707)に建てられ、本田善光3像の位置関係からも現在と同じ内陣を描いていることは明らかです。

言ってみれば、本堂という大きな箱の中に如来堂すなわち芋井草堂・双堂があり、それが内陣にあたるという見方も可能なので、そう考えると現在の如来堂も東面、とっていいではないかというのが私の論です。ご清聴ありがとうございました。

旭山はどんなときも長野の町全体を見守ってくれているような、長野市民のシンボリック的存在と思っている会員も多いことでしょう。講師からのお話で、なぜそう感じるのか分かった気がしました。



一遍聖絵に描かれた鎌倉時代の善光寺(原本清浄光寺収蔵より講師作図)



岩下・坂井が示した南向の構図

双堂として考えた東向の構図



大正3年の奉納絵馬。善光寺内陣で参拝する人々は西向き! (千葉県いすみ市坂東清水寺/講師撮影)

